

平成 28 年度 田奈中学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

友達や家庭・地域の人々とふれあい、助け合い、学び合う活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し実践する生徒を育てています。

生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

あいさつを自分からする、友だちや家族との約束を守る等、全体的に規範意識が高い。また、自分にはよいところがある、と自己肯定感をもつ生徒が多い。生徒の多くは規律ある学校生活を送っている。学年が上がるにつれて、将来への夢や目標に不安を抱くようになり、他にも、他者との積極的な関わりを求めなくなる傾向がある。

「豊かな心の育成」に関する目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・キャリア教育の充実を図り、体験活動を通して、思いやりの心・協力する心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることでコミュニケーション力を高める。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、体験活動を生かして指導を行う。【視点1】
- ・「道徳の時間」の充実に努め、資料の活用について工夫する。【視点2】

指針2 体験活動の充実

- ・職業講話や職場体験活動を通して、望ましい勤労観、職業観を育てる。また、自分の生き方について考える。
- ・職場体験活動を通して、コミュニケーション力、発表や表現力の育成を図る。
- ・職場体験に協力する事業所の拡充を行う。【視点4】